○口腔衛生学：620-3-DP1・DP3・DP4・DP5・DP7

年次	学期	学則科目責任者
3年次	通年	＊有川　量崇（衛生学）

学修目標（ＧＩＯ）と単位数	・単位数：3単位 ・学修目標（ＧＩＯ）：本来、本講義は歯科疾患の予防について学ぶ科目である。しかし今日では、単なる歯科疾患を意識した予防という考え方でなく、体の一部分である歯や口腔が健康であることを通じて、その人自身が 健康であること、また、健康かどうかだけでなく、日常生活（活動）が自立しているか、さらに、社会参画が実現しているかといったところまで、守備範囲を広げて学ぶ必要性が出てきている。すなわち、予防歯科学実習を通じて「歯科・口腔」を専門分野としつつ、「体全体」についても深い造詣を持てるように、また「地域の人々」が活き活きとした生活を送っているかどうかにまで気配りのできるような態度を身につけるための、基礎的素養を身につけることを目標にする。 　実習は、「歯科・口腔」の専門家としての基本的技術を体得する実習と、グループによる健康に関する「問題解決」実習を用意してある。前者は、主に、口腔内診査と歯科疾患の予防方法に関するものであり、後者は広く健康について、グループで問題を設定し、調査や実験によりその問題をチームワークにより解決することを体験する実習である。最終日には成果の発表会を実施し相互評価をする。 　これらを踏まえて口腔衛生学に関する知識・技能および態度を修得する。
担当教員	＊有川　量崇、田口　千恵子、＊鈴木　到、坂爪　陽香、赤司　征大、※秋月　照彦、麻生　泰、内門　大丈、中村　茂人、※深井　穫博、※山田　孝、※生田　明敏、＊内山　敏一、※鈴木　克彰、※李　昌弘、※脇田　雅文、＊林　佐智代、勝村　聖子、斉藤　久子、上松　丈裕、田口　円裕、後藤田　宏也
教科書	口腔衛生学2024　松久保　隆　他　一世出版
参考図書	口腔保健・予防歯科学　第3版　安井利一　他　医歯薬出版
評価方法（ＥＶ）	講義：授業時間内に行う2回の平常試験によって評価点とする。平常試験の結果に応じて、補講などの措置を行い、再試験を実施する。 実習：レポート・提出物の評価（30%）、実習態度（20%）、課題の発表と討論（20%）、筆記試験（30%）とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科の専門家として、口腔衛生・予防歯科は、歯科の中心に据えてもらいたい。 　歯科に関する実習では、基本に忠実にと願いたい。また、問題解決実習（昭和51年からの伝統的実習）では、問題発見から、調査、分析、発表まで、それぞれのグループの個性あふれる研究成果を毎年楽しみにしている。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/11（金） 2時限 10:40～12:10	口腔機能の発育、維持向上、疾病の多要因病因説	【授業の一般目標】 口腔機能の発育、維持向上および疾病の多要因病因説について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 口腔機能の維持増進の意義について説明できる。 2. 口腔機能と発育について説明できる。 3. 摂食・嚥下機能について説明できる。 4. 疾病の多要因病因について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：疾病の多要因病因について 事前学修時間：30分 事後学修項目：疾病の多要因病因について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 ア　健康・疾病・障害の概念 ａ　健康に関わる要因 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-１）　予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 ③プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/11（金） 3時限 13:10～14:40	実習 オリエンテーション 実習マニュアルを受け、本実習で行う項目、実習の形態、 進め方を理解する。 ・担当教員の紹介 ・実習班の編成 ----------	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科疾患の予防方法について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯科疾患の予防方法について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 ア　健康・疾病・障害の概念 ａ　健康に関わる要因 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ-８　科学的探究 Ａ-８-１）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ①生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用できる。 ②臨床上の疑問（clinical question〈CQ〉）を定式化できる。 ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 Ａ-９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ-９-１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。 ⑦人の行動と心理及び健康行動を概説できる。 ⑧行動変容と行動療法を概説できる。	＊有川　量崇 生田　明敏 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 山田　孝
2025/04/11（金） 4時限 14:50～16:20	実習 オリエンテーション 実習マニュアルを受け、本実習で行う項目、実習の形態、 進め方を理解する。 ・担当教員の紹介 ・実習班の編成 ----------	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科疾患の予防方法について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯科疾患の予防方法について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 ア　健康・疾病・障害の概念 ａ　健康に関わる要因 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ-８　科学的探究 Ａ-８-１）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ①生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用できる。 ②臨床上の疑問（clinical question〈CQ〉）を定式化できる。 ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 Ａ-９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ-９-１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。	＊有川　量崇 生田　明敏 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 山田　孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/11（金） 4時限 14:50～16:20	実習 オリエンテーション 実習マニュアルを受け、本実習で行う項目、実習の形態、 進め方を理解する。 ・担当教員の紹介 ・実習班の編成 ----------	Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。 ⑦人の行動と心理及び健康行動を概説できる。 ⑧行動変容と行動療法を概説できる。	＊有川　量崇 生田　明敏 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 山田　孝
2025/04/18（金） 2時限 10:40～12:10	予防歯科の重要性	【授業の一般目標】 歯科における予防の重要性を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 予防歯科を説明できる。 2. 予防歯科の重要性を説明できる。 3. ライフステージにおける予防歯科の特徴を概説できる。 4. 主な歯科疾患の予防を概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科における予防について考える 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯科おける予防についてまとめる 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ａ　齲蝕の予防・管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 イ　歯周疾患の予防・管理 ａ　歯肉炎の予防・管理 ｂ　歯周炎の予防・管理 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	山田　孝
2025/04/18（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［必修課題］ ・集団歯科検診法 Ｉ：う蝕	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：学校歯科健康診査について 事前学修時間：30分 事後学修項目：学校歯科健康診査について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 イ　学校保健、学校歯科保健と学校安全 ｅ　学校歯科保健管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/18（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［必修課題］ ・集団歯科検診法 Ｉ：う蝕	a　齲蝕の予防・管理 b　初期齲蝕の診断 【コアカリキュラム】 A　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8　科学的探究 A-8-1）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B　社会と歯学 B-1　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3　予防と健康管理 B-3-2）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/04/18（金） 4時限 14:50～16:20	実習 ［必修課題］ ・集団歯科検診法 Ｉ：う蝕	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：学校歯科健康診査について 事前学修時間：30分 事後学修項目：学校歯科健康診査について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 イ　学校保健、学校歯科保健と学校安全 e　学校歯科保健管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 a　齲蝕の予防・管理 b　初期齲蝕の診断 【コアカリキュラム】 A　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8　科学的探究 A-8-1）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B　社会と歯学 B-1　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3　予防と健康管理 B-3-2）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/04/25（金） 2時限 10:40～12:10	歯と口腔内環境・ 口腔清掃	【授業の一般目標】 歯と口腔内環境・口腔清掃ついて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯、歯質および歯周組織について説明できる。	＊鈴木　到

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/25（金） 2時限 10:40～12:10	歯と口腔内環境・口腔清掃	2. バイオフィルム、病原微生物およびう蝕と食事要因を説明できる。 3. 口腔清掃（ 歯ブラシによる清掃、歯磨剤、洗口剤）を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯と口腔内環境および口腔清掃について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯と口腔内環境および口腔清掃について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 ウ　予防手段 ｃ　口腔清掃（歯磨剤を含む） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ｅ　口腔清掃指導 ３　歯周疾患 イ　歯周疾患の予防・管理 ｃ　口腔清掃指導 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ③プラークコントロールの意義と方法を説明できる。	＊鈴木　到
2025/04/25（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［必修課題］ ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯周疾患（CPI）の評価および歯口清掃評価について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯周疾患の評価について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯周疾患の評価について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第3実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 エ　成人保健、成人歯科保健 ｄ　成人歯科保健活動 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 イ　歯周疾患の予防・管理 ａ　歯肉炎の予防・管理 ｂ　歯周炎の予防・管理 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-１　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/04/25（金） 4時限 14:50～16:20	実習 ［必修課題］ ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯周疾患（CPI）の評価および歯口清掃評価について説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/25（金） 4時限 14:50～16:20	実習 ［必修課題］ ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患	【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯周疾患の評価について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯周疾患の評価について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第3実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 エ　成人保健、成人歯科保健 ｄ　成人歯科保健活動 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 イ　歯周疾患の予防・管理 ａ　歯肉炎の予防・管理 ｂ　歯周炎の予防・管理 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－１　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/05/02（金） 2時限 10:40～12:10	齲蝕予防管理方法 １：砂糖の影響とその制限	【授業の一般目標】 齲蝕予防管理方法(砂糖の影響とその制限）について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.非う蝕誘発性甘味料について説明できる。 2.間食指導について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齲蝕と砂糖について 事前学修時間：30分 事後学修項目：齲蝕と砂糖の影響について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ａ　齲蝕の予防・管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ｄ　食生活指導 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－１）　予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	田口　千恵子
2025/05/02（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［必修課題］ ・歯口清掃法	【授業の一般目標】 口腔内診査・口腔機能と歯科疾患の予防方法について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.口腔清掃指標について説明できる。 2.口腔清掃指標の算出ができる。 3.ブラッシング方法について説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/02（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［必修課題］ ・歯口清掃法	4.フロスの使用方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔清掃指標について 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔清掃指標について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 ウ　予防手段 ｃ　口腔清掃（歯磨剤を含む） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ｅ　口腔清掃指導 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/05/02（金） 4時限 14:50～16:20	実習 ［必修課題］ ・歯口清掃法	【授業の一般目標】 口腔内診査・口腔機能と歯科疾患の予防方法について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.口腔清掃指標について説明できる。 2.口腔清掃指標の算出ができる。 3.ブラッシング方法について説明できる。 4.フロスの使用方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔清掃指標について 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔清掃指標について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 ウ　予防手段 ｃ　口腔清掃（歯磨剤を含む） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ｅ　口腔清掃指導 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/05/09（金） 2時限 10:40～12:10	齲蝕予防管理方法 ２：フッ化物応用の基礎	【授業の一般目標】 齲蝕予防管理方法（フッ化物応用の基礎）について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.フッ化物の基本的知識について説明できる。 2.フッ化物の代謝について説明できる。 3.フッ化物と歯のフッ素症について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：フッ化物応用について 事前学修時間：30分 事後学修項目：フッ化物応用について 事後学修時間：30分	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/09（金） 2時限 10:40～12:10	齲蝕予防管理方法 ２：フッ化物応用の基礎	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 ウ　予防手段 ａ　フッ化物応用 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ｃ　フッ化物応用 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ②齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。 Ｂ－３－１）　予防の概念 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。	田口　千恵子
2025/05/09（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［必修課題］ ・う蝕活動性試験 ・口腔機能の評価 ・フッ化物応用	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 3. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔機能・診断について 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔機能・診断について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ５　高齢者等に関連した予防と管理 イ　フレイル予防のための歯科保健管理 ｂ　口腔機能管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ａ　齲蝕の予防・管理 ｃ　フッ化物応用 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/05/09（金） 4時限 14:50～16:20	実習 ［必修課題］ ・う蝕活動性試験 ・口腔機能の評価 ・フッ化物応用	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 3. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔機能・診断について 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔機能・診断について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/09（金） 4時限 14:50～16:20	実習 ［必修課題］ ・う蝕活動性試験 ・口腔機能の評価 ・フッ化物応用	【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ５　高齢者等に関連した予防と管理 イ　フレイル予防のための歯科保健管理 ｂ　口腔機能管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ａ　齲蝕の予防・管理 ｃ　フッ化物応用 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/05/16（金） 2時限 10:40～12:10	地域におけるフッ化物応用の重要性	【授業の一般目標】 地域における齲蝕予防としてのフッ化物応用について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 地域における齲蝕予防活動について説明できる。 2. 地域におけるフッ化物応用について説明できる。 3. 地域における種々のフッ化物応用の取組みについて理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：フッ化物応用基礎を復習する 事前学修時間：30分 事後学修項目：地域におけるフッ化物応用について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 ウ　予防手段 ａ　フッ化物応用 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ｃ　フッ化物応用 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ｅ　地域保健活動の進め方 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ②齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。	田口　千恵子
2025/05/16（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［選択課題］	【授業の一般目標】 環境衛生と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 健康問題について抽出することができる。 2. 健康問題について解決することができる。 3. 健康問題解決のために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：チームで選択したテーマについて課題を検討する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：チームで選択したテーマについて課題を検討する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/16（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［選択課題］	【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 ア　健康・疾病・障害の概念 ａ　健康に関わる要因 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ-８　科学的探究 Ａ-８-１）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 Ａ-９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ-９-１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-１　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/05/16（金） 4時限 14:50～16:20	実習 ［選択課題］	【授業の一般目標】 環境衛生と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 健康問題について抽出することができる。 2. 健康問題について解決することができる。 3. 健康問題解決のために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：チームで選択したテーマについて課題を検討する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：チームで選択したテーマについて課題を検討する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 ア　健康・疾病・障害の概念 ａ　健康に関わる要因 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ-８　科学的探究 Ａ-８-１）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 Ａ-９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ-９-１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-１　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/05/23（金） 2時限 10:40～12:10	齲蝕予防管理方法３：フッ化物応用・フィッシャーシーラント	【授業の一般目標】 フッ化物応用とフィッシャーシーラントについて理解する。	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/23（金） 2時限 10:40～12:10	齲蝕予防管理方法 ３：フッ化物応用・ フィッシャーシーラント	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.フッ化物によるう蝕予防のメカニズムについて説明できる。 2.フッ化物の全身応用法について説明できる。 3.フッ化物の局所応用法について説明できる。 4.フィッシャーシーラントについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：フッ化物応用について 事前学修時間：30分 事後学修項目：フッ化物応用、フィッシャーシーラントについて 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 ウ　予防手段 ａ　フッ化物応用 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ｃ　フッ化物応用 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ②齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。 ③プラークコントロールの意義と方法を説明できる。	田口　千恵子
2025/05/23（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［必修課題］ ・う蝕活動性試験 ・口腔機能の評価 ・フッ化物応用	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.う蝕リスク診断について説明できる。 2.口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 3.F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔機能・診断について 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔機能・診断について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ５　高齢者等に関連した予防と管理 イ　フレイル予防のための歯科保健管理 ｂ　口腔機能管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ａ　齲蝕の予防・管理 ｃ　フッ化物応用 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/05/23（金） 4時限 14:50～16:20	実習 ［必修課題］ ・う蝕活動性試験 ・口腔機能の評価 ・フッ化物応用	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.う蝕リスク診断について説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/23（金） 4時限 14:50～16:20	実習 ［必修課題］ ・う蝕活動性試験 ・口腔機能の評価 ・フッ化物応用	2.口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 3.Ｆ イオン濃度測定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔機能・診断について 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔機能・診断について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ５　高齢者等に関連した予防と管理 イ　フレイル予防のための歯科保健管理 ｂ　口腔機能管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ａ　齲蝕の予防・管理 ｃ　フッ化物応用 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/05/30（金） 2時限 10:40～12:10	平常試験１ 解説 講義	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防方法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.口腔の発達と機能について説明できる。 2.歯科疾患の予防について説明できる。 3.歯と口腔内環境について説明できる。 4.歯科疾患と砂糖について説明できる。 5.齲蝕予防におけるフッ化物について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：これまでの講義内容全般について 事前学修時間：30分 事後学修項目：これまでの講義内容全般について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 イ　口腔と全身の健康増進 ａ　健康診断、口腔の診察・検査 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ａ　齲蝕の予防・管理 ｂ　初期齲蝕の診断 ｃ　フッ化物応用 ｄ　食生活指導 ｅ　口腔清掃指導 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-１）　予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ②齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。 ③プラークコントロールの意義と方法を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/30（金） 2時限 10:40～12:10	平常試験１　解説 講義	⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香
2025/05/30（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［必修課題］ ・う蝕活動性試験 ・口腔機能の評価 ・フッ化物応用	【授業の一般目標】 口腔内診査・口腔機能と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.う蝕リスク診断について説明できる。 2.口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 3.Ｆ イオン濃度測定について説明できる。 4.歯口清掃の指標と口腔清掃方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔機能について 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔機能について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ５　高齢者等に関連した予防と管理 イ　フレイル予防のための歯科保健管理 ｂ　口腔機能管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ａ　齲蝕の予防・管理 ｃ　フッ化物応用 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ②齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。 ③プラークコントロールの意義と方法を説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/05/30（金） 4時限 14:50～16:20	実習 ［必修課題］ ・う蝕活動性試験 ・口腔機能の評価 ・フッ化物応用	【授業の一般目標】 口腔内診査・口腔機能と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.う蝕リスク診断について説明できる。 2.口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 3.Ｆ イオン濃度測定について説明できる。 4.歯口清掃の指標と口腔清掃方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔機能について 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔機能について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ５　高齢者等に関連した予防と管理 イ　フレイル予防のための歯科保健管理 ｂ　口腔機能管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ａ　齲蝕の予防・管理 ｃ　フッ化物応用 【コアカリキュラム】	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/30（金） 4時限 14:50～16:20	実習 ［必修課題］ ・う蝕活動性試験 ・口腔機能の評価 ・フッ化物応用	B　社会と歯学 B-3　予防と健康管理 B-3-2）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ②齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。 ③プラークコントロールの意義と方法を説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/06/06（金） 2時限 10:40～12:10	口腔と全身とQOL	【授業の一般目標】 口腔疾患と全身について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.口腔疾患と全身の関連性を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔と全身の関連性について 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔と全身の関連性について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ４　高齢者・有病者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 ア　全身状態の評価 ａ　身体状態 【コアカリキュラム】 B　社会と歯学 B-1　健康の概念 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。	麻生　泰
2025/06/06（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［選択課題］	【授業の一般目標】 環境衛生と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.健康問題解決のために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 2.健康問題について抽出することができる。 3.健康問題について解決することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：学校歯科健康診査について 事前学修時間：30分 事後学修項目：学校歯科健康診査について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 ア　健康・疾病・障害の概念 ａ　健康に関わる要因 【コアカリキュラム】 A　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8　科学的探究 A-8-1）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 B　社会と歯学 B-1　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3　予防と健康管理 B-3-2）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/06（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［選択課題］	④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/06/06（金） 4時限 14:50～16:20	実習 ［選択課題］	【授業の一般目標】 環境衛生と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.健康問題解決のために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 2.健康問題について抽出することができる。 3.健康問題について解決することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：学校歯科健康診査について 事前学修時間：30分 事後学修項目：学校歯科健康診査について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 ア　健康・疾病・障害の概念 ａ　健康に関わる要因 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ-８　科学的探究 Ａ-８-１）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 Ａ-９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ-９-１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-１　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/06/13（金） 2時限 10:40～12:10	歯周疾患の予防管理	【授業の一般目標】 歯周疾患の予防について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯周疾患の定義、特徴および分類について説明できる。 2.歯周疾患の病因について説明できる。 3.歯周疾患の予防管理の具体的進め方について説明できる。 4.禁煙指導について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯周疾患の定義、予防管理、歯石除去法について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯周疾患の定義、予防管理、歯石除去法について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ア　歯周疾患の病因と病態 ａ　歯肉病変とそのリスクファクター 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/13（金） 2時限 10:40～12:10	歯周疾患の予防管理	各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 イ　歯周疾患の予防・管理 ａ　歯肉炎の予防・管理 ｂ　歯周炎の予防・管理 ｃ　口腔清掃指導 ｄ　禁煙支援 ｅ　生活習慣指導 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ③プラークコントロールの意義と方法を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。	田口　千恵子
2025/06/13（金） 3時限 13:10～14:40	実習［選択課題］	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：データ整理について 事前学修時間：30分 事後学修項目：データ整理について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 イ　口腔と全身の健康増進 ａ　健康診断、口腔の診察・検査 ｂ　健康教育・学習、保健指導、健康相談 ｅ　地域保健活動の進め方 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ－８　科学的探究 Ａ－８－１）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 Ａ－９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ－９－１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－１　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/06/13（金） 4時限 14:50～16:20	実習［選択課題］	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：データ整理について 事前学修時間：30分 事後学修項目：データ整理について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/13（金） 4時限 14:50～16:20	実習［選択課題］	【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 イ　口腔と全身の健康増進 ａ　健康診断、口腔の診察・検査 ｂ　健康教育・学習、保健指導、健康相談 ｅ　地域保健活動の進め方 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ－８　科学的探究 Ａ－８－１）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 Ａ－９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ－９－１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－１　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/06/20（金） 2時限 10:40～12:10	法歯学1	【授業の一般目標】 死体解剖と死因究明制度を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 死因究明制度を理解する。 2. 死体解剖の重要性を理解する。 3. 個人識別について理解する。 4. 身元確認について理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：法歯学について ・準備学修時間：　60　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ３　歯科法医学 ア　死因の究明 ａ　死体解剖と死因究明制度 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ３　歯科法医学 ア　死因の究明 ｂ　死後変化 ｃ　個人識別、身元確認 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－２　健康と社会、環境 Ｂ－２－３）　歯科による個人識別 ①歯科による個人識別を説明できる	斉藤　久子
2025/06/20（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［必修課題］ ・法歯学の実際1	【授業の一般目標】 歯科所見による個人識別の有用性・流れについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. デンタルチャート（生前・死後）について説明できる。 2. 個人識別に関する報告書を作成できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：法歯学について 事前学修時間：30分 事後学修項目：法歯学について 事後学修時間：30分	斉藤　久子 勝村　聖子 ＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/20（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［必修課題］ ・法歯学の実際1	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ３　歯科法医学 ア　死因の究明 ｃ　個人識別、身元確認 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-２　健康と社会、環境 Ｂ-２-３）　歯科による個人識別 ①歯科による個人識別を説明できる ②歯科医師による身元確認や関連する死因究明等の制度を説明できる。	斉藤　久子 勝村　聖子 ＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/06/20（金） 4時限 14:50～16:20	実習 ［必修課題］ ・法歯学の実際1	【授業の一般目標】 歯科所見による個人識別の有用性・流れについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.デンタルチャート（生前・死後）について説明できる。 2.個人識別に関する報告書を作成できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：法歯学について 事前学修時間：30分 事後学修項目：法歯学について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ３　歯科法医学 ア　死因の究明 ｃ　個人識別、身元確認 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-２　健康と社会、環境 Ｂ-２-３）　歯科による個人識別 ①歯科による個人識別を説明できる ②歯科医師による身元確認や関連する死因究明等の制度を説明できる。	斉藤　久子 勝村　聖子 ＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/06/27（金） 2時限 10:40～12:10	法歯学2	【授業の一般目標】 歯科による個人識別を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.個人識別を説明できる。 2.身元確認を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科による個人識別、身元確認について学修する。 ・準備学修時間：　60　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ３　歯科法医学 ア　死因の究明 ｃ　個人識別、身元確認 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-２　健康と社会、環境 Ｂ-２-３）　歯科による個人識別 ①歯科による個人識別を説明できる ②歯科医師による身元確認や関連する死因究明等の制度を説明できる。	勝村　聖子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/27（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［必修課題］ ・法歯学の実際2	【授業の一般目標】 歯科所見による個人識別の有用性・流れについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.デンタルチャート（生前・死後）について説明できる。 2.個人識別に関する報告書を作成できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：個人識別について 事前学修時間：30分 事後学修項目：個人識別について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ３　歯科法医学 ア　死因の究明 ｃ　個人識別、身元確認 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ３　歯科法医学 ア　死因の究明 ａ　死体解剖と死因究明制度 ｂ　死後変化 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-２　健康と社会、環境 Ｂ-２-３）　歯科による個人識別 ①歯科による個人識別を説明できる ②歯科医師による身元確認や関連する死因究明等の制度を説明できる。	勝村　聖子 斉藤　久子 ＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏
2025/06/27（金） 4時限 14:50～16:20	実習 ［必修課題］ ・法歯学の実際2	【授業の一般目標】 歯科所見による個人識別の有用性・流れについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.デンタルチャート（生前・死後）について説明できる。 2.個人識別に関する報告書を作成できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：個人識別について 事前学修時間：30分 事後学修項目：個人識別について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ３　歯科法医学 ア　死因の究明 ｃ　個人識別、身元確認 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ３　歯科法医学 ア　死因の究明 ａ　死体解剖と死因究明制度 ｂ　死後変化 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-２　健康と社会、環境 Ｂ-２-３）　歯科による個人識別 ①歯科による個人識別を説明できる ②歯科医師による身元確認や関連する死因究明等の制度を説明できる。	勝村　聖子 斉藤　久子 ＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏
2025/07/04（金） 2時限 10:40～12:10	歯科保健の統計指標	【授業の一般目標】 歯科保健の統計指標について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.疾病数量化の基本概念について説明できる。 2.う蝕の統計指標について説明できる。 3.歯周疾患の統計指標について説明できる。 4.口腔清掃状態の統計指標について説明できる。	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/04（金） 2時限 10:40～12:10	歯科保健の統計指標	【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科疾患の統計指標について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯科疾患の統計指標について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ６　疫学と調査 ウ　保健医療統計調査 ｂ　歯科領域における保健医療統計・疫学調査 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ６　疫学と調査 エ　齲蝕・歯周疾患の疫学要因 ａ　齲蝕の疫学要因 ｂ　歯周疾患の疫学要因 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－４　疫学・保健医療統計 Ｂ－４－１）　歯科疾患の疫学 ③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。	田口　千恵子
2025/07/04（金） 3時限 13:10～14:40	実習［選択課題］	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：データ整理について 事前学修時間：30分 事後学修項目：データ整理について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ－８　科学的探究 Ａ－８－１）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 Ａ－９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ－９－１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－１　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/07/04（金） 4時限 14:50～16:20	実習［選択課題］	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/04（金） 4時限 14:50～16:20	実習［選択課題］	【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：データ整理について 事前学修時間：30分 事後学修項目：データ整理について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ａ　公衆衛生活動 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ−８　科学的探究 Ａ−８−１）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 Ａ−９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ−９−１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 Ｂ　社会と歯学 Ｂ−１　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ−３　予防と健康管理 Ｂ−３−２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/07/11（金） 2時限 10:40～12:10	疾病のリスク評価の実際・口臭予防	【授業の一般目標】 う蝕リスク診断法とその特徴および口臭の原因と予防について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯、宿主要因に関するリスク診断について説明できる。 2. 微生物要因に関するリスク診断について説明できる。 3. 飲食物の要因と時間要因に関するリスク診断について説明できる。 4. 口臭症と歯科臨床について説明できる。 5. 口臭の臨床ガイドラインについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口臭について 事前学修時間：30分 事後学修項目：口臭について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ５　顎･口腔領域の疾患の疫学と予防 イ　生活習慣指導 ｅ　口臭の予防 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ａ　齲蝕の予防・管理 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ−３　予防と健康管理 Ｂ−３−２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。	＊内山　敏一
2025/07/11（金）	実習［選択課題］	【授業の一般目標】	＊有川　量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 13:10～14:40		チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：データ整理について 事前学修時間：30分 事後学修項目：データ整理について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ−８　科学的探究 Ａ−８−１）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 Ａ−９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ−９−１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 Ｂ　社会と歯学 Ｂ−１　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ−３　予防と健康管理 Ｂ−３−２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/07/11（金） 4時限 14:50～16:20	実習［選択課題］	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：データ整理について 事前学修時間：30分 事後学修項目：データ整理について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ−８　科学的探究 Ａ−８−１）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 Ａ−９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ−９−１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 Ｂ　社会と歯学 Ｂ−１　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/11（金） 4時限 14:50～16:20	実習［選択課題］	②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/07/18（金） 2時限 10:40～12:10	社会における歯科医師の役割	【授業の一般目標】 社会における歯科医師の役割について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 社会保障制度を説明できる。 2. 社会保障の動向を説明できる。 3. 医療保障・公衆衛生サービスを説明できる。 4. 社会福祉サービスを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：社会における歯科医師の役割について 事前学修時間：30分 事後学修項目：社会における歯科医師の役割について 事前学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 ウ　社会保障制度 ａ　社会保障の概要 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ４　医療経済 ア　医療経済 ａ　社会保障費と国民医療費 ｂ　医療費負担と給付 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-２　健康と社会、環境 Ｂ-２-２）　保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ②医療保険制度と医療経済（国民医療費）を説明できる。 ③社会保障制度（社会保険・社会福祉・公的扶助・公衆衛生）を説明できる。	中村　茂人 田口　千恵子
2025/07/18（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［選択課題］ 課題の発表と討論	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：課題の発表方法について 事前学修時間：30分 事後学修項目：課題の発表方法について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ-８　科学的探究 Ａ-８-１）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 Ａ-９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ-９-１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/18（金） 3時限 13:10～14:40	実習 ［選択課題］ 課題の発表と討論	④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－１　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/07/18（金） 4時限 14:50～16:20	実習 ［選択課題］ 課題の発表と討論	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：課題の発表方法について 事前学修時間：30分 事後学修項目：課題の発表方法について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ－８　科学的探究 Ａ－８－１）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 Ａ－９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ－９－１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－１　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香 生田　明敏 山田　孝
2025/08/22（金） 2時限 10:40～12:10	平常試験２　解説 講義	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科疾患の予防について具体的に説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：予防歯科学全般について 事前学修時間：30分 事後学修項目：予防歯科学全般について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 エ　口腔健康管理 ａ　口腔衛生管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/22（金） 2時限 10:40～12:10	平常試験２　解説 講義	ａ　齲蝕の予防・管理 ｃ　フッ化物応用 ３　歯周疾患 イ　歯周疾患の予防・管理 ａ　歯肉炎の予防・管理 ｂ　歯周炎の予防・管理 ｃ　口腔清掃指導 ｄ　禁煙支援 ｅ　生活習慣指導 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 イ　口腔と全身の健康増進 ａ　健康診断、口腔の診察・検査 ｂ　健康教育・学習、保健指導、健康相談 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－１　健康の概念 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ②齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。 Ｂ－４　疫学・保健医療統計 Ｂ－４－１）　歯科疾患の疫学 ③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香
2025/08/22（金） 3時限 13:10～14:40	実習試験 解説講義 まとめ	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科疾患の予防について具体的に説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：予防歯科学全般について 事前学修時間：30分 事後学修項目：予防歯科学全般について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 エ　口腔健康管理 ａ　口腔衛生管理 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－１　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－１）　予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 ③プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。 ④感染性疾患と非感染性疾患の予防の違いを説明できる。 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香
2025/08/22（金） 4時限 14:50～16:20	実習試験 解説講義 まとめ	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科疾患の予防について具体的に説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：予防歯科学全般について 事前学修時間：30分 事後学修項目：予防歯科学全般について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/22（金） 4時限 14:50～16:20	実習試験 解説講義 まとめ	【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 エ　口腔健康管理 ａ　口腔衛生管理 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－１　健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－１）　予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 ③プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。 ④感染性疾患と非感染性疾患の予防の違いを説明できる。 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香
2025/09/09（火） 1時限 09:00～10:30	衛生学・口腔衛生学概論	【授業の一般目標】 各ライフステージにおける口腔衛生・衛生・社会福祉ついて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.口腔の健康維持増進の意義について説明できる。 2.ライフステージ別に口腔衛生の重要性を説明できる。 3.ライフステージ別の社会福祉について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：ライフステージ別の口腔衛生・衛生・社会福祉ついて 事前学修時間：30分 事後学修項目：ライフステージ別の口腔衛生・衛生・社会福祉ついて 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 ａ　地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 ア　健康・疾病・障害の概念 ａ　健康に関わる要因 ｂ　社会環境の変化 ｃ　疾病の自然史 ｄ　ノーマライゼーション ｉ　医療連携・チーム医療とその関係職種 ｊ　保健・医療・福祉・介護の連携とその関係職種 ｅ　地域保健活動の進め方 ｇ　かかりつけ歯科医機能 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ－７　社会における医療の実践 Ａ－７－１）　地域医療への貢献 ③地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。 ④かかりつけ歯科医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身に付ける。 ⑦地域医療に積極的に参加・貢献する。	＊有川　量崇
2025/09/16（火） 1時限 09:00～10:30	歯科疾患統計の実際	【授業の一般目標】 歯科疾患統計の実態について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯の喪失の実態について説明できる。 2.歯の喪失の原因について説明できる。 3.う蝕の疫学的特性について説明できる。 4.う蝕の有病状況について説明できる。 5.根面う蝕の状況について説明できる。 6.歯周疾患の疫学的特性について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科疾患統計の実態について	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/16（火） 1時限 09:00～10:30	歯科疾患統計の実際	事前学修時間：30分 事後学修項目：歯科疾患統計の実態について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ６　疫学と調査 ウ　保健医療統計調査 ｂ　歯科領域における保健医療統計・疫学調査 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-４　疫学・保健医療統計 Ｂ-４-２）　保健統計 ②主な保健医療統計（歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国勢調査、人口動態調査、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、学校保健統計調査等）を説明できる。 ③主な健康指標（平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率等）を説明できる。 ④調査方法と統計的分析法を説明できる。	田口　千恵子
2025/09/30（火） 1時限 09:00～10:30	母子歯科保健	【授業の一般目標】 母子を対象とした集団レベルの歯科疫学と口腔衛生管理を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 妊産婦の歯科保健について説明できる。 2. 乳幼児の歯科保健について説明できる。 3. 母子保健手帳について説明できる。 4. 母子歯科保健のこれまでの歩みと今後の課題について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：母子歯科保健について 事前学修時間：30分 事後学修項目：母子歯科保健について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 ア　母子保健、母子歯科保健と児童福祉 ｃ　母子歯科保健の意義 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 ア　母子保健、母子歯科保健と児童福祉 ｄ　妊産婦の歯科保健 ｅ　乳幼児の歯科保健と健康診査 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	＊有川　量崇
2025/10/07（火） 1時限 09:00～10:30	学校歯科保健	【授業の一般目標】 学校歯科保健について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 学校歯科医について説明できる。 2. 学校歯科保健活動について説明できる。 3. 学校教育法および学校保健安全法について説明できる。 4. 学校歯科保健活動のこれまでの歩みと今後の課題について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：学校歯科保健について 事前学修時間：30分 事後学修項目：学校歯科保健について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	＊鈴木　到

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/07（火） 1時限 09:00～10:30	学校歯科保健	アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 イ　学校保健、学校歯科保健と学校安全 ｄ　学校歯科保健教育 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 イ　学校保健、学校歯科保健と学校安全 ｅ　学校歯科保健管理 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	＊鈴木　到
2025/10/14（火） 1時限 09:00～10:30	歯科医院における口腔環境管理	【授業の一般目標】 歯科医院における口腔環境管理について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯、歯質および歯周組織について説明できる。 2. バイオフィルム、病原微生物およびう蝕と食事要因を説明できる。 3. 口腔清掃（ 歯ブラシによる清掃、歯磨剤、洗口剤）を説明できる。 4. 歯科医院における口腔管理について概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯と口腔内環境および口腔清掃について 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯と口腔内環境および口腔清掃について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 イ　口腔と全身の健康増進 ａ　健康診断、口腔の診察・検査 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ③プラークコントロールの意義と方法を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	＊鈴木　到
2025/10/21（火） 1時限 09:00～10:30	産業歯科保健	【授業の一般目標】 産業歯科保健について理解できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 産業歯科保健の意義について説明できる。 2. 産業歯科保健に関する制度について説明できる。 3.　口腔領域に現れる職業性疾患について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：産業歯科保健について 事前学修時間：30分 事後学修項目：産業歯科保健について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/21（火） 1時限 09:00～10:30	産業歯科保健	３　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 ｄ　産業保健 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 ウ　産業保健、産業歯科保健 ｅ　産業歯科保健の意義 ｆ　産業歯科保健活動 ｇ　職域での健康増進対策 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。	田口　千恵子
2025/10/28（火） 1時限 09:00～10:30	公衆衛生活動における口腔衛生学のまとめ①	【授業の一般目標】 母子歯科保健・学校歯科保健における予防歯科ついて説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 母子歯科保健における歯科医師の役割が説明できる。 2. 学校歯科保健における歯科医師の役割が説明できる。 3. 歯科疾患統計の実際が説明できる。 4. 公衆衛生活動における各職種の連携について理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：公衆衛生活動について 事前学修時間：30分 事後学修項目：公衆衛生活動における歯科の役割について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ｅ　地域保健活動の進め方 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ｆ　地域保健における都道府県、市町村、保健所の役割 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－４　疫学・保健医療統計 Ｂ－４－１）　歯科疾患の疫学 ③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	上松　丈裕 田口　千恵子
2025/11/11（火） 1時限 09:00～10:30	平常試験１・ 解説講義	【授業の一般目標】 母子歯科保健・学校歯科保健・それぞれに伴う保健統計の実際を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 疾病数量化の基本概念について説明できる。 2. 母子歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 3. 学校歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：母子歯科保健・学校歯科保健・それぞれの保健統計について 事前学修時間：30分 事後学修項目：母子歯科保健・学校歯科保健・それぞれの保健統計について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/11（火） 1時限 09:00～10:30	平常試験１・ 解説講義	ア　母子保健、母子歯科保健と児童福祉 ｃ　母子歯科保健の意義 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 イ　口腔と全身の健康増進 ａ　健康診断、口腔の診察・検査 ｂ　健康教育・学習、保健指導、健康相談 ６　疫学と調査 ウ　保健医療統計調査 ｂ　歯科領域における保健医療統計・疫学調査 ａ　齲蝕の疫学要因 ｂ　歯周疾患の疫学要因 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－４　疫学・保健医療統計 Ｂ－４－１）　歯科疾患の疫学 ③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香
2025/11/18（火） 1時限 09:00～10:30	成人・高齢者歯科保健	【授業の一般目標】 成人、高齢者を対象とした集団レベルの疫学と口腔衛生管理、また社会的支援のあり方を理解する。 1. 高齢者の特性 2. 加齢による身体的、精神的変化 3. 加齢に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化 4. 高齢者に対する歯科疾患予防 5. 摂食嚥下障害への対処 6. 制度とニーズ把握 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.高齢者の特性について説明できる。 2.加齢による身体的、精神的変化について説明できる。 3.加齢に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化について説明できる。 4.高齢者に対する歯科疾患予防について説明できる。 5.高齢者の歯科診療における注意点について説明できる。 6.摂食嚥下障害への対処について説明できる。 7.制度とニーズ把握について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：成人・高齢者歯科保健について 事前学修時間：30分 事後学修項目：成人・高齢者歯科保健について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 ｅ　成人・高齢者保健 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 オ　高齢者保健、高齢者歯科保健 ａ　現状、動向 ｂ　高齢者の特性 ｃ　高齢者歯科保健・高齢者の口腔管理 ｄ　日常生活支援事業、介護予防、フレイル対策 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－２　健康と社会、環境 Ｂ－２－２）　保健・医療・福祉・介護の制度 ④高齢者の置かれた社会環境を説明できる。 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。	田口　千恵子
2025/11/25（火） 1時限 09:00～10:30	高齢者歯科保健の実際	【授業の一般目標】 高齢者を対象とした集団レベルの疫学と口腔衛生管理、また社会的支援のあり方を理解する。 1. 加齢による身体的、精神的変化 2. 加齢に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化 3. 高齢者の歯科診療における注意点 4. 摂食嚥下障害への対処 【行動目標（ＳＢＯｓ）】	＊林　佐智代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/25（火） 1時限 09:00～10:30	高齢者歯科保健の実際	1.高齢者の特性について説明できる。 2.加齢による身体的、精神的変化について説明できる。 3.加齢に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化について説明できる。 4.高齢者に対する歯科疾患予防について説明できる。 5.高齢者の歯科診療における注意点について説明できる。 6.摂食嚥下障害への対処について説明できる。 7.制度とニーズ把握について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：高齢者歯科保健について 事前学修時間：30分 事後学修項目：高齢者歯科保健の実際について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 ｆ　障害児・障害者保健 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 オ　高齢者保健、高齢者歯科保健 ｃ　高齢者歯科保健・高齢者の口腔管理 ｄ　日常生活支援事業、介護予防、フレイル対策 ｅ　障害児・障害者の歯科保健医療 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ３　加齢による口腔・顎顔面領域の症候 ア　機能的変化 ａ　咀嚼機能 ｂ　摂食嚥下機能 ５　高齢者等に関連した予防と管理 イ　フレイル予防のための歯科保健管理 ｄ　口腔機能低下症の予防管理 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-２　健康と社会、環境 Ｂ-２-２）　保健・医療・福祉・介護の制度 ④高齢者の置かれた社会環境を説明できる。 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。	＊林　佐智代
2025/12/02（火） 1時限 09:00～10:30	社会保障制度	【授業の一般目標】 社会保障制度を理解する。 社会保障制度のあり方を考察する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.制度とニーズ把握について説明できる。 2.身近な社会保障制度について説明できる。 3.社会保険について説明できる。 4.医療保険について概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：社会保障制度について 事前学修時間：30分 事後学修項目：社会保障制度について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 イ　保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ｅ　保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 ウ　社会保障制度 ａ　社会保障の概要	田口　円裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/02（火） 1時限 09:00～10:30	社会保障制度	b　医療保険 c　介護保険 d　公的扶助と公費医療 【コアカリキュラム】 B　社会と歯学 B-2　健康と社会、環境 B-2-2）　保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ②医療保険制度と医療経済（国民医療費）を説明できる。 ③社会保障制度（社会保険・社会福祉・公的扶助・公衆衛生）を説明できる。	田口　円裕
2025/12/09（火） 1時限 09:00～10:30	社会保障制度の実際	【授業の一般目標】 社会保障制度について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 社会保障制度を説明できる。 2. 社会保障の動向を説明できる。 3. 医療保障・公衆衛生サービスを説明できる。 4. 所得保障を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：社会保障制度 事前学修時間：30分 事後学修項目：社会保障制度 事前学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 1　健康の保持・増進と社会保障 ウ　社会保障制度 a　社会保障の概要 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 1　健康の保持・増進と社会保障 ウ　社会保障制度 b　医療保険 c　介護保険 d　公的扶助と公費医療 h　医療施設 【コアカリキュラム】 B　社会と歯学 B-2　健康と社会、環境 B-2-2）　保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ②医療保険制度と医療経済（国民医療費）を説明できる。 ③社会保障制度（社会保険・社会福祉・公的扶助・公衆衛生）を説明できる。	＊有川　量崇 赤司　征大
2025/12/16（火） 1時限 09:00～10:30	国際歯科保健・地域歯科保健の実際	【授業の一般目標】 国際歯科保健について理解する。 地域歯科保健の実際について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 口腔保健管理とそれを支える特性について説明できる。 2. 国際歯科保健について説明できる。 3. 地域で行われる歯科保健活動を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：国際保健・地域歯科保健について 事前学修時間：30分 事後学修項目：国際保健・地域歯科保健について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 a　地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進	＊有川　量崇 脇田　雅文

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/16（火） 1時限 09:00～10:30	国際歯科保健・地域歯科保健の実際	５　国際保健 ア　国際保健 ａ　持続可能な開発目標〈SDGs〉 ｂ　非感染性疾患〈NCDs〉 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動 ｅ　地域保健活動の進め方 ｆ　地域保健における都道府県、市町村、保健所の役割 ｇ　かかりつけ歯科医機能 ｊ　在宅医療 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-２　健康と社会、環境 Ｂ-２-２）　保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ⑦社会環境（ノーマライゼーション、バリアフリー、quality of life〈QOL〉）の考え方を説明できる。 Ｂ-１　健康の概念 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ-２　健康と社会、環境 Ｂ-２-２）　保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を説明できる。 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 脇田　雅文
2025/12/23（火） 1時限 09:00～10:30	国際歯科保健・公衆歯科保健	【授業の一般目標】 国際歯科保健について理解する。 公衆歯科保健について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.口腔保健管理とそれを支える特性について説明できる。 2.国際歯科保健について説明できる。 3.公衆歯科保健について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：国際保健・公衆衛生について 事前学修時間：30分 事後学修項目：国際保健・公衆衛生について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ５　国際保健 ア　国際保健 ｄ　国際協力 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ５　国際保健 ア　国際保健 ａ　持続可能な開発目標〈SDGs〉 ｂ　非感染性疾患〈NCDs〉 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動 ｃ　ヘルスプロモーション ｄ　プライマリヘルスケア 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-２　健康と社会、環境 Ｂ-２-２）　保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ⑦社会環境（ノーマライゼーション、バリアフリー、quality of life〈QOL〉）の考え方を説明できる。 Ｂ-１　健康の概念 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 Ｂ-２　健康と社会、環境 Ｂ-２-２）　保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を説明できる。 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	深井　穫博
2026/01/13（火） 1時限 09:00～10:30	公衆衛生活動における口腔衛生学のまとめ②	【授業の一般目標】 ライフステージ別における疾患予防、健康保持増進について理解する。	内門　大丈 田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	公衆衛生活動における口腔衛生学のまとめ②	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科疾患の予防の重要性を説明できる。 2.産業歯科保健における予防の重要性を説明できる。 3.高齢者歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 4.障碍者歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 5.国際歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：予防歯科学全般について 事前学修時間：30分 事後学修項目：予防歯科学全般について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-２　健康と社会、環境 Ｂ-２-２）　保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ②医療保険制度と医療経済（国民医療費）を説明できる。 ③社会保障制度（社会保険・社会福祉・公的扶助・公衆衛生）を説明できる。 ④高齢者の置かれた社会環境を説明できる。 ⑤障害者の置かれた社会環境を説明できる。 ⑦社会環境（ノーマライゼーション、バリアフリー、quality of life〈QOL〉）の考え方を説明できる。 ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を説明できる。 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	内門　大丈 田口　千恵子
2026/01/20（火） 1時限 09:00～10:30	平常試験2・解説 講義	【授業の一般目標】 ライフステージ別における疾患予防、健康保持増進について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科疾患の予防の重要性を説明できる。 2.産業歯科保健における予防の重要性を説明できる。 3.高齢者歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 4.障碍者歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 5.国際歯科保健における公衆衛生活動全般を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：予防歯科学全般について 事前学修時間：30分 事後学修項目：予防歯科学全般について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-２　健康と社会、環境 Ｂ-２-２）　保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ②医療保険制度と医療経済（国民医療費）を説明できる。 ③社会保障制度（社会保険・社会福祉・公的扶助・公衆衛生）を説明できる。 ④高齢者の置かれた社会環境を説明できる。 ⑤障害者の置かれた社会環境を説明できる。 ⑦社会環境（ノーマライゼーション、バリアフリー、quality of life〈QOL〉）の考え方を説明できる。 ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を説明できる。 Ｂ-３　予防と健康管理 Ｂ-３-２）　歯科疾患の予防と健康管理	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/20（火） 1時限 09:00～10:30	平常試験2・解説 講義	④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	＊有川　量崇 田口　千恵子 ＊鈴木　到 坂爪　陽香